

動物のようにハーレム大乱交！！大草原の上で

リビングのソファに座り、コーヒーを飲みながらマサキは前日のポストに入れられていた手紙を思い出していた。不思議な内容。

「時空のカギは小さな池にある」

意味が一見してはさっぱり分からず、そのまま机の上に放置してある。

妹から電話がかかってきた。仕事のことについての相談だった。

「おにいちゃん！！ほんと仕事人間関係いろいろあってさあっ！！今度一緒に気晴らしに遊びでも行こうね！！」

15分ほどか、電話を切ると、机の前の壁の辺りに黒い穴が現れた・・・。

仕事先と自宅との往復の日々。退屈なこともあって、興味本位でマサキは少し勇気を振り絞りその穴の中へそっと手を伸ばしてみた。

すると・・・

「うわあああっっ！！！」

凄い勢いで中へと体ごと吸い込まれていった。

腰を固い地面にぶつけた。吸い込まれた際の強い風もなくなった。キョロキョロと辺りを見渡すと、周囲は何もない草原。

マサキは少し歩いてみることにした。

しばらく歩き進むと小高い丘のような大きな岩場にたどり着いた。かすかに道のようなものが出来ており、人が歩いた形跡がある。マサキは何も考えずにその岩を登ってみることにした。

よじ登るほどではないが歩くという感じでもない。

話し声が聞こえた。

「ここに一人男でも来たら、チンポ取り合うのにね、私たち」

「そうね、女ばかりでするのももう飽きたわ」

周囲に何もない大草原の中にしてはなかなか不釣り合いな内容だった。

上ると、裸の美女たちがたくさんいた。マサキは目を丸くして驚く。

腰が砕けてしまいそうだった。

————— 体験版はここまでです。 —————